



Title	大阪府大東保健所の紹介
Author(s)	坂井, 芳夫
Citation	makoto. 1980, 30, p. 6-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86109
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪府大東保健所の紹介

大東保健所所長

坂井 芳 夫

昭和五十四年十二月十日、大阪府大東市に「大阪府大東保健所」が大東市の二十四番目の保健所として開所いたしました。

この保健所が所轄区域とする大東市は、河内平野のほぼ中央に位置し、東西七・五km、南北四・一km、面積十八・四三km²、西は大阪市に接する工業地域、南は大東市、東は東部金剛生駒国定公園に属する飯盛城の古跡と名勝野崎観音を中心とした公園地帯、山岳部で奈良県に、北は四条畷市・寝屋川市・門真市に接しています。

大東市一帯は、数万年前、生駒山脈の麓まで海で、その後、地盤隆起と河川の堆積作用で、だいに陸化し、江戸時代の半ばに綿作を中心とする農業地帯となり、寝屋川と恩智川の合流点は大阪と奈良を結ぶ舟運の拠点となり、「野崎詣り」の屋形船でにぎわったことはよく知られています。

現在は、片町線の電化により、大阪都心部との関係は密接となり、戦後からの阪奈道路・中央

環状線・外環状線の相次ぐ開通により、工場・事業所・住宅などの著しい進出をみました。

市の人口十一万五、五九二人（昭和五十五年一月末現在）で、昭和三十一年の住道町・四条町・南郷村の二町一村の合併による市制施行時の三万〇、〇一七人が、今日では三・九倍となるなど、とくに急激に発展した地域であります。

（大東保健所の設置経過）

従来、大東市・四条畷市・交野市の三市の広範な地域を、大阪府四条畷保健所が所轄していました。しかし、利用する大東市民にとっては距離的にも遠く、来所のための交通が不便な地区も多いため、住民生活に直結する公的施設としての保健所の設置を強く要望する声が高まりました。昭和四十九年十一月、大東市長を会長とする「府、保健所設置推進会議」が設けられたのを嚆矢として、地元選出府会議員、市当局、市議会、市民団体及び関係団体が積極的に、国および府に働きかけました。府

においても、設置基準に合致していたことから市民の熱意をくみ入れ、逼迫した財政事情のなかで、昭和五十三・四両年度事業として竣工をみたものであります。

（施設の概要）

所在地 大東市幸町8番8号

（郵便番号 五七四）

電話 〇七二〇一七一一九一

九一

敷地面積 一、六七四・六m²
建物面積 鉄筋二階建 延二、三二六・四m²

（愛され信頼される保健所を目指して）

近年、生活水準は高度化し、住民の公衆衛生思想は向上し、疾病予防・健康保持・増進に対する意識は高まっております。公衆衛生の第一線機関である保健所に対する住民の期待も多種多様となっており、きめの細かい、充実した保健衛生指導と共に、種々の要望が寄せられております。そのため、保健所の今後のあり方といたしまして、住民の保健衛生需要を的確に、より対応する必要がある。保健所、市、医療機関がそれぞれの役割を分担しながら、一体的な保健医療体制を確立しなければなりません。

一方、大東市では都市化の進展と社会情勢の変遷の中で、調和のとれた都市基盤の整備開発として再開発事業等を実施して

来ましたが、相次ぐ宅地化で人口が急増した地域だけに、他市と同様な都市の抱える問題が、種々の相談や苦情として保健所に寄せられ、環境衛生業務に、とくに顕著にあらわれております。これらについては、保健所独自で解決できる事柄には限度があることから、関係行政機関との連携を密にし、問題の解決をはからねばなりません。

大東保健所は昨年末のあわただしい開所に引き続き、本年一月から本格的業務を開始しました。幸い、市、地元医師会等の協力を得、職員の一致団結した積極的な取り組みによって業務は極めて円滑に遂行でき、予想以上の実績、例えば一月に比較して、二月は保健所のP・Rの徹底したこともあって、来所者が倍増するなど、今更ながら、住民の保健所への期待の大きさを再認識したところであります。八〇年代に入って、高令化社会へと向うなかで、保健所のスタッフをフルに活用して、愛され信頼される保健所を目指し、発展させるべく努力しているところであります。

おわりに、大東保健所の今後の発展のため、皆様方のご支援をお願いいたします。

